

令和4年度事業報告

1 小型船舶の交通安全に関する教育（公益1）

○ 海難防止講習会

（1）海上安全講習会

各地区の小型船安全協会会員を主としたプレジャーボート等の小型船のオーナー・ユーザー等の関係者及び水上バイクの会員を対象に安全講習会を次のとおり開催した。

地 区	回 数	受講者数
福岡地区・福岡県海洋スポーツ協会	1	42
洞海地区	1	17
芦屋地区	1	11
ひびき灘地区	1	60
有明海地区	1	39
長崎地区	1	130
佐世保地区	1	15
臼杵地区	1	38
佐伯地区	1	22
萩地区	1	50
合 計	10回	422名

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した地区については、書面講習を実施した。

地 区	受講者数
関門地区	110
宇部地区	24
伊万里湾地区	69
対馬地区	31
大分地区	31
津久見地区	26
長門地区	20
西港地区	14
合 計	325名

(2) 安全講習会受講旗配布

当協会会員が積極的に安全講習会に参加することで、同会員をはじめ海洋レクリエーションの用に供する小型船舶の関係者の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序あるマリンレジャーの普及と発展に寄与することを目的として安全講習会受講旗を各保安部署含め771枚配布した。

また、安全講習会受講証は船舶を持たない会員及び水上バイクの会員・各海上保安部署に31枚配布した。(令和4年度黄色)

(3) 小型船航海実習研修

委託者 : 運輸安全委員会事務局 門司事務所

日時 : 令和5年1月19日(木)

小型船による昼間・夜間航行の体験を通じて、小型船の運航に関する基礎的な知識を習得することを目的に実施した。

① オリエンテーション (門司区港町7-8 J P門司港ビル3階会議室)

「関門海峡の概要と小型船舶」と題して、関門海峡の特徴、関門海峡における船舶の航、関門海峡の航路標識、視界不良の状況等の説明を行った。

② 航海体験実習場所 : 門司港第6船溜まり～関門航路(下関側)～巖流島～彦島～六連沖合～関門航路(北九州側)～ひびき (復路)

③ 航海体験時間 : 14時～15時20分 16時50分～19時

④ 使用船舶 : 白洋

⑤ 参加人員 : 調査官 6名(門司・長崎・広島・神戸・横浜・仙台) 海上安全指導員 1名、船長(会員)

防波堤への衝突事故が多い箇所、昼と夜の見え方の違いと衝突事故を起こしやすい状況を実体験してもらった。

○ 広報活動

(1) カレンダーの作成

安全運航を啓蒙するため「海難0への願い」と題し、自己救命策3つの基本として、「ライフジャケットの着用」、「適切な連絡手段の確保」、「海の緊急通報118番」を訴えるカレンダーを公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成配布した。

イ 規格・作成部数 A2番 カラー 220部

ロ 配布先 各地区小型船安全協会及びその関係先

(2) マリンセーフティブックの作成

主として海上安全指導員が、陸上から訪船する現場指導やパトロール艇による

海上パトロールの際に、相手に手渡す指導啓蒙用及び会員募集用のマリンセーフティブックを作成し配布した。

- イ 規格作成部数 21cm×14.8cm版 31ページカラー 1,000部
- ロ 配布先 小型船安全協会会員及びその他のプレジャーボート等小型船のオーナー・ユーザー、マリーナ等

2 小型船舶に対する安全パトロール（公益1）

○ 海上安全指導員による安全活動

（1）海上安全パトロール及び海浜パトロール

海上安全指導員に、主として日祝日等のマリンレジャーの活発な海域での安全パトロール艇によるパトロールと訪船指導を依頼し、プレジャーボート等の小型船に対し救命胴衣の常時着用、航海計画の内容、船体・機関・装備品の整備状況、気象の把握等に関して指導した。

また、マリンレジャーが盛んな時期において、海水浴場周辺に出動し、海水浴場等来場者の安全を確保し、砂浜付近まで進出可能な水上バイクの会員と連携し、安全指導を実施した。

各海上保安部署との合同パトロール実施地区

関門地区・下関地区(水上バイク)・西港地区・宇部地区・洞海地区・
ひびき灘地区・福岡地区・有明海地区・伊万里湾地区(水上バイク合同)・
唐津玄海地区・平戸地区・長崎地区(水上バイク合同)・佐伯地区・萩地区・
福岡県海洋スポーツ協会 15地区

（2）陸上からの訪船活動

船溜まり及びマリーナ等に出向きアンケート調査及びパンフレットを配布し、発航前点検、ライフジャケット着用の声かけを実施した。

地 区	訪船活動回数	現場指導隻数
西 港 地 区	1	8
ひ び き 灘 地 区	9	31
有 明 海 地 区	11	20
伊 万 里 湾 地 区	11	11
長 崎 地 区	28	47
平 戸 地 区	4	23
対 馬 地 区	3	8
大 分 地 区	4	6

津久見地区	3	3
豊前海地区	10	162
萩地区	6	32
長門地区	1	9
福岡県海洋スポーツ協会	11	11
合計	102回	371隻

当協会に所属する海上安全指導員の活動

地区	パトロール回数	訪船活動回数
関門・下関地区	23	17
西港地区	1	2
宇部地区	68	47
みやこ地区	53	54
洞海地区	117	74
芦屋地区	24	18
ひびき灘地区	17	36
福岡地区	39	97
有明海地区	70	70
唐津玄海地区	195	16
伊万里湾地区	36	0
佐世保地区	73	203
平戸地区	104	28
長崎地区	495	229
対馬地区	88	12
大分地区	3	82
臼杵地区	42	35
津久見地区	42	24
佐伯地区	42	5
豊前海地区	0	16
萩地区	20	19
長門地区	5	6
福岡県海洋スポーツ協会	6	6
玄海マリーナ	3	30
合計	1566回	1126回

(3) 海上安全指導員連絡調整会議

各地区の小型船安全協会に所属する海上安全指導員の代表及び水上バイクの海上安全指導員が活動する上での問題点等について検討するとともに各地区の海上安全指導員とのコミュニケーションを図ることを目的に実施した。

実施日 : 令和4年10月13日(木)

実施場所 : 門司港湾合同庁舎 7階 会議室

出席者 : 第七管区海上保安本部 交通部 3名

各地区海上安全指導員 24名

技術顧問 5名

実施内容 : (1)第七管区海上保安本部 「船舶海難の現状について」

(2)訪船活動について

半年間の訪船活動中心の活動について検討

訪船活動への意見聴取等について

3 小型船舶の安全思想の普及及び宣伝(公益2)

○ 海上イベントへの協力等

(1) 関門港ボート天国

開催日 : 令和4年7月17日(日)

開催場所 : 北九州市関門港レトロ地区関門港門司区第1船溜まり及びその付近の海域

プレジャーボートの安全運航とマリンレジャーに対する健全な普及と安全思想の啓発を図るため、関門港で開催されたボート天国に参画し、会場・水辺警備を担当したほか、一般市民150名を海上安全指導員とともにモーターボートへ試乗させる行事を実施した。

(2) ちびっ子カーニバル2022

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(3) 安全啓発グッズの作成配布

海の事故ゼロキャンペーン用として、公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成した。

① メモ帳 1500部

配布先 : 会員及び各海上保安部署、安全講習会・海上安全パトロール
1466部配布した。

② うちわ 2000部

配布先 : 会員及び各海上保安部署、安全講習会・海上安全パトロール・イベント1471部配布した。

(4) リーフレット(ひろげよう！安全活動の輪！)

協会用リーフレットを1000部作成した。

イベント等に875部配布した。

(5) 2022九州ボートショー in 福岡

開催日 : 令和4年6月4日(土)、5日(日)

場所 : 福岡市ヨットハーバー特設会場

来場者 : 2,237名

4 小型船舶の交通安全に関する調査及び研究(公益1)

○調査研究受託事業

(1) 関門海峡早鞆瀬戸付近における小型船の動静調査

委託者 : 公益社団法人 西部海難防止協会

船舶が輻湊する関門海峡で最も航路幅が狭く、潮流が早い早鞆瀬戸付近海域の小型船を調査することにより、今後同調査海域付近の船舶航行安全調査研究業務を行うための基礎データとすることを目的に実施した。

関門航路第30号灯浮標から第36号灯浮標までの海域を11分割し、東側から順に調査海域とする。

小型船の隻数、船種、動静及び航路内外の別、乗船者数、救命胴衣着用の有無、気象、海象、早鞆瀬戸の潮流等を小型船調査表に記入。

A4版に製本した報告書30部及び報告書の電子媒体(CD)1枚を納品した。

(2) 船舶が輻湊する海域での小型船の動向に関する調査研究

委託者 : 公益社団法人 西部海難防止協会

船舶が輻湊する関門海峡において、大型船舶の航行時における付近の小型船舶の動向について調査し、大型船舶が航行する航路内での安全に小型船舶が避航するための必要な事項等を整理するための基礎データを作成した。

A4版に製本した報告書5部及び報告書の電子媒体(CD)1枚を納品した。

委託者 : 公益社団法人 西部海難防止協会

(1)大型船舶航行時に進行方向で航行、遊漁する小型船舶の動向。

(2)大型船舶の前方を横切る小型船舶の動向。

(3)複数の大型船舶の前方を横切る小型船舶の動向。

動画をCD-Rにより10部を納品した。

5 小型船による災害支援活動（公益1）

○人命救助訓練

（1）訓練

各地区小型船安全協会において、海上保安部署のもとで次のとおり人命救助訓練を実施した。

地 区	実 施 回 数	参 加 人 員	参 加 隻 数
芦 屋 地 区	1	4	1
宇 部 地 区	1	19	—
長 崎 地 区	1	33	6
伊 万 里 湾 地 区	1	20	5
萩 地 区	1	23	3
福岡県海洋スポーツ協会	1	49	
合 計	6回	148名	15隻

6 その他本協会が目的を達成するための必要な事業

○海上安全指導員用ベスト・マリンハットの貸与

海上安全指導員に対し、陸上及びイベント時に海難防止活動をする際に着用できるベストを作成(2ヵ年計画)。令和4年度は、最終年度で100着作成し、安全指導員に77着貸与した。

新規海上安全指導員に対し、マリンハット5個貸与した。

○関係会議への出席

令和4年 6月	「博多港(中央ふ頭沖～箱崎ふ頭沖)浚渫整備に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回 「苅田港(本港地区)航路整備に伴う航行安全対策調査専門委員会」第1回	(公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席) (公社)西部海難防止協会 (吉野事務局長出席)
7月	「JX金属製錬(株)佐賀製錬所棧橋建造(仮称)に伴う航行安全対策調査専門委員会」	(公社)西部海難防止協会 (吉野事務局長出席)
9月	「苅田港(本港地区)航路整備に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回	(公社)西部海難防止協会 (吉野事務局長出席)
11月	「全国海難防止団体等連絡調整会議」	(公社)日本海難防止協会 (富賀見会長・吉野事務局長出席)

12月	「響灘東地区処分場整備に伴う航行安全対策調査専門委員会」第1回	(公社)西部海難防止協会 (吉野事務局長出席)
令和5年 1月	「第25回西海防セミナー」	(公社)西部海難防止協会 (富賀見会長出席)
2月	「九州海域におけるLNGバンカリング事業に係る航行安全調査専門委員会」第1回	(公社)西部海難防止協会 (吉野事務局長出席)
3月	「響灘東地区処分場整備に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回 「九州海域におけるLNGバンカリング事業に係る航行安全調査専門委員会」第2回	(公社)西部海難防止協会 (吉野事務局長出席) (公社)西部海難防止協会 (吉野事務局長出席)

○物品販売事業（収益）

協会旗頒布

当協会会員の団結と意識の向上を促し、対外的に本会の活動をアピールすることを目的として75枚を有料にて頒布した。